

# 平成29年度 第1回 津山市総合教育会議 次第

日時：平成29年5月30日(火) 15:00～

場所：津山市役所 3F庁議室

## <会議次第>

1 開 会

2 挨拶

3 議 題

(1) 第2期学校力向上推進プランの策定について(資料1)

(2) ICT模擬授業について(資料2)

(3) 子ども若者支援地域ネットワークについて(資料3)

4 そ の 他

5 閉 会

# 平成29年度第1回津山市総合教育会議 出席者名簿

平成29年5月30日

## ○総合教育会議 構成者

役 職	氏 名
市 長	宮 地 昭 範
教 育 長	原 田 良 一
教 育 委 員	寺 元 貴 幸
教 育 委 員	森 尚 美
教 育 委 員	長 江 真 理 子
教 育 委 員	尾 島 邦 昭

## ◇総合教育会議 事務局

役 職	氏 名
総 合 企 画 部 長	玉 置 晃 隆
総 合 企 画 部 政 策 調 整 室 長	平 田 暁
総 合 企 画 部 政 策 調 整 室 企 画 主 幹	河 野 茂 夫

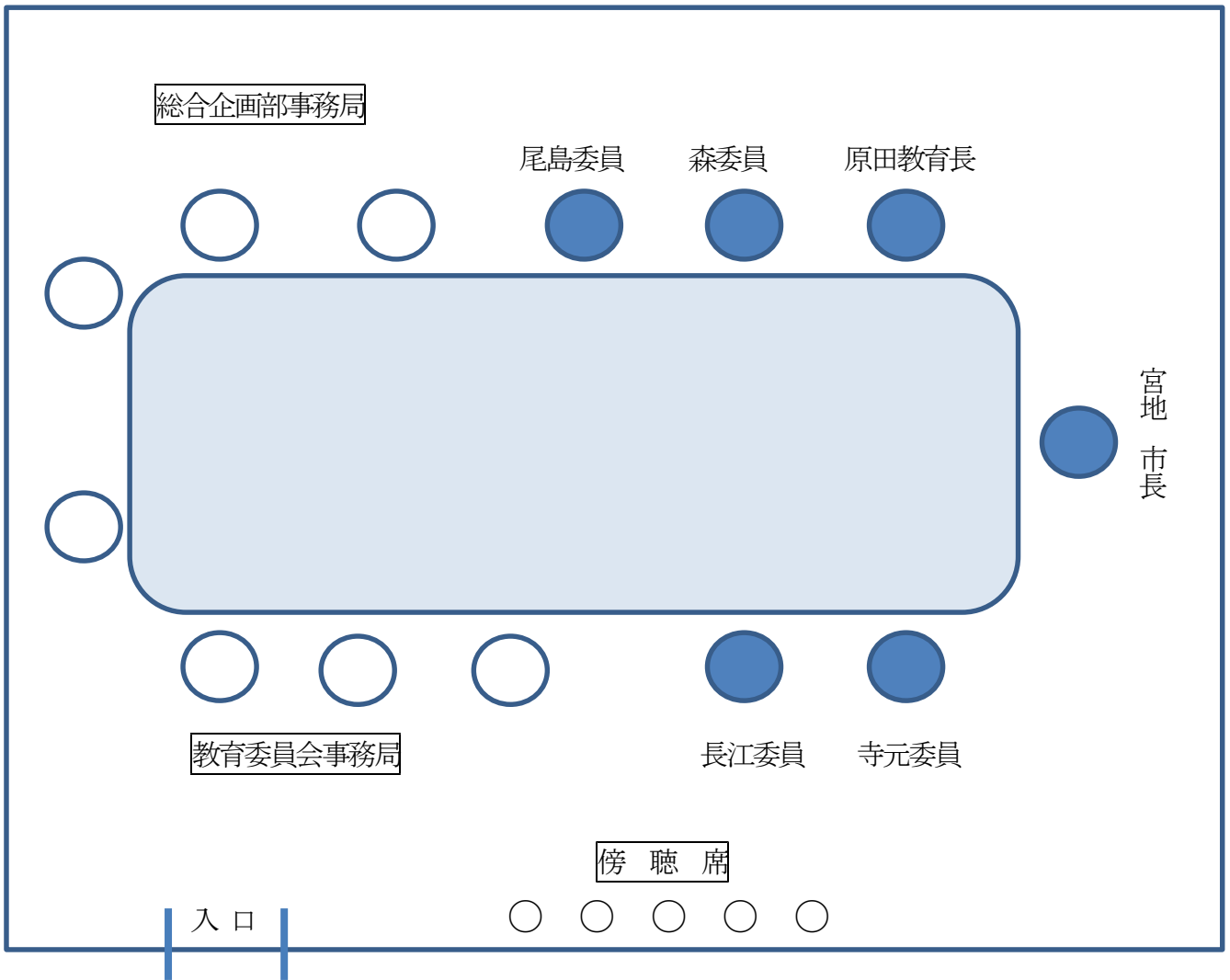
## ◇教育委員会 事務局

役 職	氏 名
学 校 教 育 部 長	絹 田 真 一
学校教育部次長(兼)教育総務課長	戸 田 博 人
学校教育部教育総務課主幹	仁 木 良 和
学校教育部学校教育課長	影 山 哲 也
学校教育部学校教育課主査	松 尾 英 樹
生 涯 学 習 部 長	松 尾 全 人
生涯学習部 企画調整官	朝 田 一

# 平成29年度第1回総合教育会議配席図

日時：平成29年5月30日

場所：津山市役所 3F 庁議室



### 津山市学校力向上推進プラン

#### □第1期の重点取組と検証

##### 「学力向上」

- ・検証改善サイクルの構築
  - ・授業改善
  - ・指導体制の整備
- <検証>
- 小学校の基礎学力改善
  - 活用力の育成
  - 中学校の改善

##### 「生徒指導・ 不登校支援」

- ・関係機関との連携強化
  - ・Q-U検査
- <検証>
- 問題行動は改善傾向
  - スマホ・ネット対策

##### 「特別支援教育」

- ・津山市特別支援教育推進センター
  - ・教育支援体制の充実
- <検証>
- 特別支援体制の整備
  - 特別な支援を必要とする児童生徒は増加傾向

### 津山市学校力向上推進プラン(第2期)

#### □第2期の重点取組

##### 「確かな学力の向上」

- ★新学習指導要領（小学校英語・特別の教科「道徳」）
- ★学校ICT環境整備（学習環境の充実と授業改善）
- ★指導力向上（学力の検証改善サイクル）
- ★若手教職員の育成（研修の充実と校内OJTの推進）

##### 「健やかな体の育成」

- ★リズム運動（リズムジャンプの取組と運動する喜び）
- ★生活習慣の確立（健康教育充実と家庭との連携）

##### 「生徒指導・不登校支援の推進」

- ★生徒指導体制整備（専門家と連携、早期発見早期対応）
- ★情報モラル教育（スマホ等の適切な利用）
- ★郷土学習（「津山学」、体験的な学習）

##### 「特別支援教育の推進」

- ★特別支援教育推進センター（情報提供、実践的な支援）
- ★教育支援システム（一貫した教育支援策）
- ★指導体制整備（きめ細かな指導の充実）

個の確立とつなぐ力を育む（義務教育の充実）

## 学校ICT環境整備事業について

### 1 導入趣旨

【教育をめぐる環境の変化】

- 「教育の情報化」や「主体的な学び」等の推進を求める学習指導要領の改訂（2020年）。
- 教育環境のIT化の推進（児童生徒の学力向上と情報の利活用力向上、教員の負担軽減と児童生徒に向かい合う時間の確保のための校務効率化等）。

【学校ICT環境の整備】

- 授業理解の深まりや知識習得への興味の高まりを図ることを目的として、小中学校へ指導用タブレット等の教育ICT機器を年次的に整備し、効果的な活用を進めていきます。
- 児童・生徒と向き合う時間を確保し、わかる授業、魅力ある授業の実現を図るため、校務支援システムを導入して教員の事務軽減に向けた取組を進め、教育力の向上につなげていきます。

【ICTを活用した授業の特徴】

- デジタル教科書は、動く映像や音などの視聴覚効果の高い内容を活用することで、より深く学習内容を理解することができます。
- 板書にかかる時間を短縮し、児童生徒が主体的に考える時間に充てることで、課題となっている活用力を育てていきます。
- 授業のねらいを示し、学習課題への興味関心を高め、学習内容をわかりやすく説明します。

### 2 導入する機器等

平成29年度の導入を予定している機器（概要） ※H31年度には全校で342台稼働予定		
モデル校として	小学校3校	中学校2校
教員用タブレット端末※(1台/教室)	36台	19台
デジタル教科書（各学年）	18教科	15教科
壁掛け固定式プロジェクター(1台/教室)	36台	19台
無線LANアクセスポイント(1台/教室)	55台	
校務支援システム（教職員用PC）	35校（全校）	
予算合計（内6,733千円は基盤整備の経常分）	25,300千円	9,780千円

### 3 今後のスケジュール（予定）

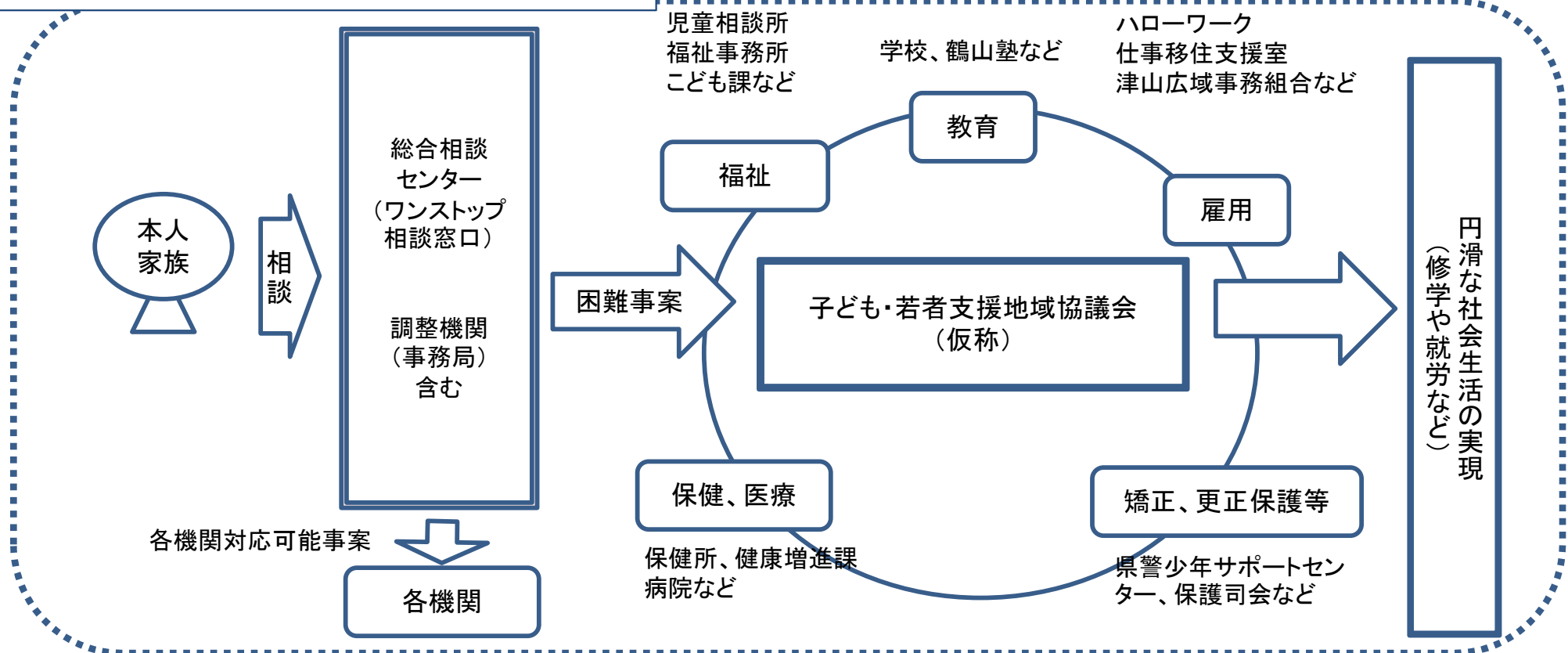
	29年度	30年度	31年度	32年度(2020) 学習指導要領改訂	33年度
学習環境ICT	モデル校5校導入	中期16校	後期14校	運用	検証
校務環境ICT	35校導入		運用		検証

【参考】英語教科化(小5)

## 子ども・若者支援地域ネットワーク強化推進事業の取り組みについて

実施	内閣府の認定を受け、平成29年度に実施
目的	ニート、ひきこもり、不登校などの状態にある子ども・若者を切れ目なく支援するため、関係機関のネットワークを強化する
内容	①ネットワーク体制「子ども・若者支援地域協議会(仮称)」の整備にかかる専門家からのアドバイス ②支援に携わる関係者への講習 ③支援機関マップの作成

### 子ども・若者支援地域協議会(仮称)の概要



※子ども・若者育成支援推進法(平成21年法律第71号)

【法の趣旨】子ども・若者が社会生活を円滑に営むことができるように支援し、施策を推進するもの